

調達

私たちは、長期的に環境、社会、経済をよりよくしていくため、次に掲げる4項目をサプライチェーン全体に浸透させていくことで、調達活動を通じ持続可能な社会と価値創造を実現することをミッションに掲げています。

1. 透明性
2. コンプライアンス
3. QCD(品質、コスト、供給)&イノベーション
4. 持続可能な調達活動

ブリヂストングループの持続可能なサプライチェーンの実現に向けた活動は、ステークホルダーに環境面、社会面、経済面で長期的な利益をもたらします。この活動は、「[グローバルサステナブル調達ポリシー\(以下、調達ポリシー\)](#)」[☞](#)に基づいており、2050年を見据えた環境長期目標に掲げる「100%サステナブルマテリアル化^{*1}」に沿ったものです。調達ポリシーは適正な調達先選定要件の明確化やベストプラクティスの促進、また、業界内におけるコミュニケーション促進や業務改善のツールとしても活用されています。

当社グループが調達する天然ゴムのサプライチェーンや、人権及び環境への配慮を含む持続可能な調達に対するお客様や消費者の皆様のご関心がますます高まる中、調達活動を通じた持続可能な社会と価値創造の実現というミッションは一層重要



Andy Thompson

Director, Sustainability Policy
Bridgestone Americas, Inc.
Executive committee member
of GPSNR

私たちブリヂストンは、複雑なサステナビリティ課題に取り組んでいます。例えば、天然ゴムについては、グローバルで600万人以上の小規模農家の方々が栽培していますが、生産的で持続可能な天然ゴムの供給を確保することが課題となっています。だからこそ私たちは「持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム」(GPSNR)においてリーダーシップを発揮し、バリューチェーン全体や市民社会からの専門知識やリソースを活用して、天然ゴムのサプライチェーンを持続可能で公平かつ公正なものに変えていくことを目指しています。私たちは、持続可能な天然ゴムのサプライチェーンが社会にとってもビジネスにとっても有益だと信じています。

になります。2023年末までに、すべての主要なTier1^{*2}のお取引先様に改訂した調達ポリシーを受領したことを確認することを目指し、2023年3月末時点では87%のタイヤ原材料のお取引先様から調達ポリシーの受領書をいただいています。

*1 ブリヂストングループでは、「1. 継続的に利用可能な資源から得られ、2. 事業として長期的に成立し、3. 原材料調達から廃棄に至るライフサイクル全体で環境・社会面への影響が小さい原材料」をサステナブルマテリアルと位置付けています。詳しくは[サステナブルマテリアル](#)のページをご覧ください。

*2 当社グループと直接取引するタイヤ原材料の一次サプライヤー

》 ESG デューデリジェンス活動

タイヤ・ゴム業界におけるグローバルリーディングカンパニーとして、当社グループは、世界的な天然ゴムの需要増加に連動して、各社の調達量が拡大することにより生じる環境、社会リスクなどにも取り組んでいます。中でも、社外のステークホルダーの皆様からのESGリスク管理の要求が高い天然ゴムのサプライチェーンに着目し、ESGのデューデリジェンス活動を推進しています。天然ゴムのサプライチェーンにおけるESGリスクを特定・評価するために、[Verisk Maplecroft](#) [☞](#)ならびに[EcoVadis](#) [☞](#)と協働しています。2023年末までに、Tier1のタイヤ原材料のお取引先様との取引金額ベースにして95%以上がEcoVadis社のESGリスクアセスメントを受審することを目指しており、2023年3月末時点では97%が受審しています。また、2023年末までに、すべてのTier1の天然ゴムのお取引先様がEcoVadis社のESGリスクアセスメントを受審することを目指しており、2023年3月末時点で94%のお取引先様が受審しました。

さらに、Verisk MaplecroftとEcoVadisのアセスメントの結果に基づき、対象となるお取引先様を選定し、児童労働、強制労働、森林破壊などの業界特有のリスクを含め、「[持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム\(GPSNR\)](#)」[☞](#)のポリシーフレームワークに沿ってサステナビリティに関するリスクを評価するために、[公益財団法人世界自然保護基金ジャパン](#) [☞](#)と連携して開発したSAQ (Self-Assessment Questionnaire) を使ってESG現地監査を実施しています。2023年は、33の天然ゴム加工工場でESG現地監査を実施予定です。

監査でリスクが特定された場合、当社グループは継続支援を行い、天然ゴムサプライチェーン全体のリスクを低減するためお取引先様とともにリスクを予防・緩和する計画を策定します。これまでの監査では、人権侵害や森林破壊活動などの具体的なリスクは特定されませんでした。

》天然ゴムサプライチェーントレーサビリティの確保

天然ゴムのリスクを一層厳しく管理し、持続可能にするために、当社グループは天然ゴムサプライチェーンのトレーサビリティ向上の取り組みとデジタルツールを活用した現地監査の実施を推進していきます。トレーサビリティを確実に向上させるため、現地とのパートナーシップを活用して、現地農家においてデジタルツールのトライアルを実施しています。

リベリアでは、自社農園だけでなく小規模農家についても、環境指標や社会指標などとともに農園の特性を見える化できる新しいデジタルツールを導入する取り組みを行っています。

2023年末までに、小規模農家を含む天然ゴムサプライチェーンのトレーサビリティを30%以上確保することを目標としており、2022年末時点では33%の天然ゴムのお取引先様を特定しています(Tier 1のお取引先様からの自己申告ベース)。

》生産性と持続可能性向上支援

世界の天然ゴム需要は上昇傾向を辿っている一方で、森林保護に向けた企業の自助努力やそのための法整備など農園拡大への制限がますます強固になることが予想されます。

さらに、天然ゴムはタイヤ製造で持続可能な原料ではありますが、収穫量が少なければ、小規模農家が天然ゴムの栽培では生計を立てることができず、他の作物栽培に切り替える可能性があります。そのため、天然ゴムの小規模農家の生産能力を強化し、収穫量と収入を上げ、小規模農家が森林破壊や他のESGリスクを引き起こさない

ようにすることが、当社グループにとって重要な活動になります。そこで、当社グループとしての生産能力向上を目的に、サステナブル調達ワーキンググループの関連機能を結集して、「キャパシティビルディングタスクフォース」を2022年に設立しました。同タ



天然ゴム採取

スクフォースは現在、当社グループの戦略とGPSNRの基準に沿った効果的で明確なKPIと中期目標の設定を行っています。

GPSNRはまさに多様なステークホルダーが参加する包括的なネットワークであり、非常に幅広く複雑な問題に取り組んでいます。他タイヤメーカー、自動車メーカー、加工・製造業者、小規模農家、市民社会と協力し、資源や知識を共有しながら、天然ゴム業界の持続可能性向上に向けた当社グループの活動に参画するための有効なプラットフォームとして機能しています。

当社グループは、小規模農家の生産能力と持続可能性を強化するために2023年にGPSNRが中心となって実施する取り組みの支援として、GPSNRに6万ドル(約790万円)を寄付し、GPSNRから重要な支援企業として認められました。

当社グループはGPSNRの生産能力強化プロジェクトへの寄付に加え、有効な支援を実現するために「小規模農家ワーキンググループ」に積極的に参加し、小規模農家の意見をGPSNRの活動に反映させるべく取り組んでいます。小規模農家の作付面積あたりの収穫量を増やすことで生産能力を強化するための支援を行うために、GPSNRの「責任共有フレームワーク」での議論に主体的に参加し、最も公平な賃金分配メカニズムを構築、リソースと知識を共有し、メンバーの天然ゴムの持続可能性を高める取り組みの評価・表彰について協議しています。



GPSNR会議の様子

☞ [グローバルサステナブル調達ポリシー\(以下、調達ポリシー\)](http://www.bridgestone.co.jp/csr/social/procurement/pdf/Policy_Japanese.pdf) www.bridgestone.co.jp/csr/social/procurement/pdf/Policy_Japanese.pdf

☞ [サステナブルマテリアル](http://www.bridgestone.co.jp/csr/environment/resources/index.html) www.bridgestone.co.jp/csr/environment/resources/index.html

☞ [Verisk Maplecroft](http://www.maplecroft.com/) www.maplecroft.com/

☞ [EcoVadis](http://ecovadis.com/) ecovadis.com/

☞ [持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム\(GPSNR\)](http://sustainablenaturalrubber.org/) sustainablenaturalrubber.org/

☞ [公益財団法人世界自然保護基金ジャパン](http://www.wwf.or.jp/) www.wwf.or.jp/